

令和7年度

事業計画書

社会福祉法人 黎明会

特別養護老人ホーム オーキッド

法人理念

地域と共に歩む誠実な介護

基本方針

- 誠実な対応を心がけ、一人ひとりの思いを大切にします
- 世代を超え誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献します
- 専門性を磨き、働きがいのある職場づくりを目指します
- 常に新たな介護ニーズに対応できるよう何事にも挑戦します

令和7年度 事業方針

法令を遵守しながら事業を推進し地域における介護の拠点を目指します。

生産性向上を図る観点から、ICT機器を使ったテクノロジーの促進、業務の効率化等働きやすい職場環境づくりを推進していく。また、日頃の備えを万全にして利用者、家族が安心して施設に預けられるよう体制を整え、机上訓練等を実施し訓練を活かし事業継続計画(BCP)の見直しを継続的に行なうことで切れ目のないサービスを提供する。

家族や地域に開かれた施設運営を提供するとともに地域住民に信頼されるよう、地域貢献活動を通じ地域との関係性を深める。また、人材確保の観点では、ボランティアの受入や高等学校や専門学校、短期大学、大学生と幅広くアプローチを行い、「介護の魅力」を発信し職員確保に繋げる。

施設経営計画

- ① 特養年間ベッド稼働率 93%を目指します。
短期入所年間ベッド稼働率 97%を目指します。
- ② 損益を適正に評価し安定した運営を行う。

部門目標

【事務】

- ① 事務処理の効率を上げる
 - ・ICTの導入によって、事務処理の効率を上げ、正確かつ迅速に行います。
- ② 自己啓発に努める
 - ・新たな情報の収集・知識の取得に努めます
- ③ 連絡事項の潤滑
 - ・ICTを使い、家族間・職員間の連絡がスムーズに行えるようにします。
- ④ 支出の削減
 - ・コスト管理を行い、支出の見直し、経費の削減に努め、無駄をなくし施設の運営が円滑に行えるように努力します。

【特養相談員】

- ① 相談援助
 - ・入居者自身・ご家族等支援者が「望む生活」を構築していくために入居者様を含む関係者で相談を重ね、同じ目標及び方向性を持ってケアを提供することができるように各分野と連携を図ります。
- ② 稼働率の向上
 - ・施設入居をご希望の方が一人でも多く施設を利用して頂けるよう入居申込を随時募集します。面談等、入居手続きを速やかに行い、希望者の早期入居、空床期間の短縮、稼働率の向上を目指します。
 - ・特養に空床がある場合は、ショート利用希望者に開放し、空床利用を推進します。
 - ・施設サービスの利用を希望されている方に対し速やかにサービスの提供が行えるよう、地域の病院や居宅介護支援事業所等に空室状況等情報提供を行います。

【特養介護】

- ① 暮らしの継続
 - ・利用者の尊厳のある生活を保護・継続していきます。一人ひとりの暮らしぶりや趣味嗜好を再確認し、ケアの充実を図ります。
 - ・利用者一人ひとりに視点を合わせ、日々の関わりの中でその人らしい生活を送って

いただけるように雰囲気づくり、環境整備に取り組みます。

・感染症予防対策を実施しながら近隣への散歩や行事参加等を積極的に行います。

② 誠実な介護の実現

・至誠の心をもって介護にあたります

③ 生産性の向上

・電子カルテ導入により、情報の伝達、周知、共有が迅速化できることによる生産性の向上を目指します。

④ 感染対策

・定期的な訓練や研修も交えて新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防に努めます。

・換気、手洗い、消毒、マスクの着用を継続して徹底していきます。

⑤ 職員育成

・eラーニングを活用、毎月開催し職員が自らの学びの向上を目指します。

・介護の新たな担い手として外国人技能実習生や特定技能生には指導員を中心に計画的に技術・知識を習得できるよう指導、助言を行います。また、生活面においても生活指導員を中心に生活習慣の指導やフォローを行います。

【短期入所相談員】

① 相談援助

・利用者様の過ごしやすい環境の提供を目指し、ご家族や居宅ケアマネとの連携、各部署との情報共有に努めます。

② 稼働率の向上

・適切に利用できるように受け入れの仕組みを整え、緊急な依頼に対応できるように努めます。

・毎月平均97%を目標とし、居宅介護支援事業所への営業活動の継続と稼働率の安定化を目指します。

【短期入所介護】

① 個別支援の実現

・その人らしい暮らしを基盤に日々の状態変化に合わせた介護サービスの提供を行います。

② 生産性の向上

・ICTを活用し、情報の共有を円滑にします。また、業務における時間の削減を行い利用者様、職員ともに心地よい環境づくりを目指します。

【医務】

① 体調の変化など病状の早期発見に努め嘱託医へ報告し、連携します

② 嘱託医とご家族の橋渡しになるよう努めます

- ③ 近隣の感染症の流行に注意し予防に努めます
- ④ 看取りカンファレンスに参加し、尊厳ある最期を迎えられるように努めます

【栄養】

- ① 食材費高騰で食事提供が難しい中でも委託給食会社と連携し、利用者様に適切な食事が提供できるように衛生管理に努めます。
- ② 他職種と連携し利用者様の栄養状態に適した食事が提供できるように努めます。
- ③ ご家族や他職種の方に情報提供が出来るように、衛生・栄養情報の収集を行います。

【介護支援専門員】

- ① 計画作成
 - ・入居者自身、ご家族等支援者が考える施設での「望む暮らし」に近づけることができるよう、多職種で意見交換を行い施設計画書に反映し作成します。
- ② 自己研鑽
 - ・研修の参加や自己学習を通じて知識や情報の取得に努め、それらを業務に還元することで、施設全体の向上に貢献できる介護支援専門員を目指します。

【会議・委員会】

入所者の多様なニーズや生命の保全を勘案し、下記の会議や委員会を行います。

会議・委員会	日時	目的
管理者会議	毎週	施設の運営会議を行う。幹部にて業務実績の報告や課題を討議する。苦情報告等。
全体会議	月1回	施設の運営に対して、各業務の見直しやサービス向上に向け話し合う。各部署間の連携を強化する。施設全体の教育・研修の立案と実施。
看取り委員会	月1回	施設内の看取りにおいて検討する。
労働安全衛生委員会	月1回	職員の労働環境などを検討する。
介護リーダー会議	月1回	介護業務における業務の見直しを協議する。介護職員向けの教育スケジュールを実施。
入所判定会議	月1回	入所の妥当性を明らかにするため、定期的に入所判定指針に基づき判定する。
事故防止委員会	月1回	事故・ヒヤリの検証虐待や身体拘束事案を検討。
給食委員会	月1回	委託業者とともに、給食の改善点を検討。

感染委員会 褥瘡予防委員会	月1回	入所者や職員に対して感染症等からの予防対策を考え、実施していく。
レク・行事委員会	月1回	日常生活において季節感と楽しみもっていただく行事の企画運営。
生産性向上委員会	月1回	業務におけるムリ・ムダを見つけ、効率の良い業務になるよう改善方法を検討していく
身体拘束廃止委員会	3ヶ月1回	定期的に入所者の身体拘束について話し合い、必要に応じて開催し、適時身体拘束について検討していく。
虐待防止委員会	3ヶ月1回	定期的にご利用者に対する虐待事例や不適切な介護の事例がないかを話し合い、必要に応じて臨時的に検討していく

【施設内研修計画】

月	テーマ	形式	テーマ	形式
4	介護現場で気を付けたいプライバシー保護に関する研修	eラーニング	事業計画について外国人向け研修	机上
5	緊急時の対応に関する研修	eラーニング		
6	事故発生又は再発防止に関する研修	eラーニング	BCP 訓練	机上
7	業務継続計画(BCP)に関する研修～感染症	eラーニング		
8	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	eラーニング		
9	倫理及び法令遵守に関する研修	eラーニング	火災、防災避難訓練	訓練
10	接遇に関する研修	eラーニング		
11	感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	eラーニング		
12	ハラスメントに関する研修	eラーニング		
1	事故発生又は再発防止に関する研修	eラーニング	BCP 訓練	訓練
1	業務継続計画(BCP)に関する研修～自然災害	eラーニング		

2	感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	eラーニング	火災、防災避難訓練	訓練
2	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	eラーニング		
3	認知症及び認知症ケアに関する研修	eラーニング		
3	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修	eラーニング		